

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和4年12月1日発送
令和4年12月16日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 380 企業(回答率 12.7%)

※ 当期: R04年10月～12月実績見込
次期: R05年1月～3月期予測

【DI値について】

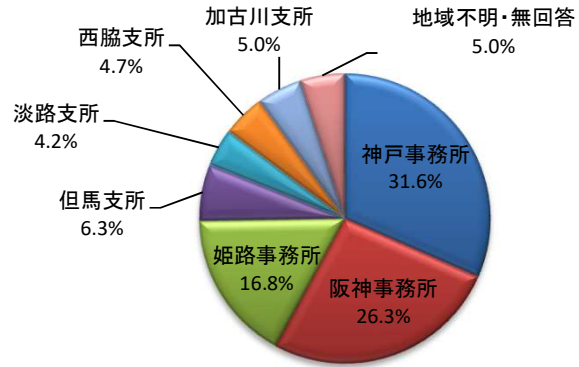
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

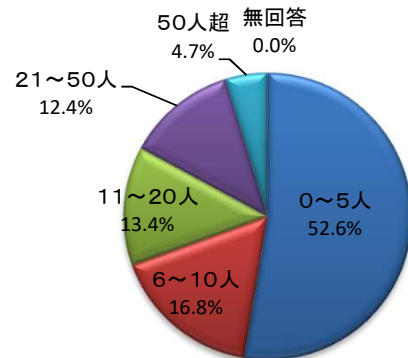
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	120	31.6%
阪神事務所	100	26.3%
姫路事務所	64	16.8%
但馬支所	24	6.3%
淡路支所	16	4.2%
西脇支所	18	4.7%
加古川支所	19	5.0%
地域不明・無回答	19	5.0%
合計	380	100.0%



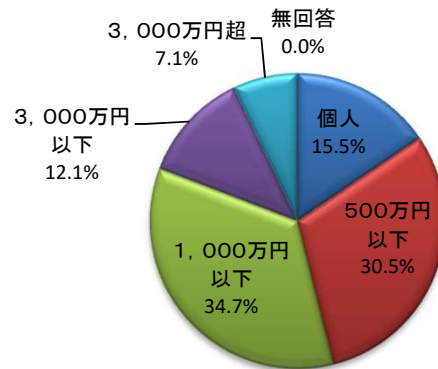
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	200	52.6%
6～10人	64	16.8%
11～20人	51	13.4%
21～50人	47	12.4%
50人超	18	4.7%
無回答	0	0.0%
合計	380	100.0%



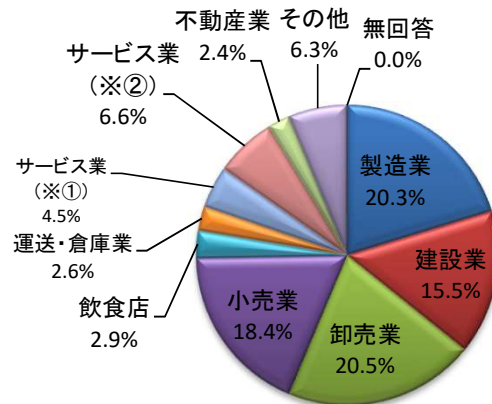
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	59	15.5%
500万円以下	116	30.5%
1,000万円以下	132	34.7%
3,000万円以下	46	12.1%
3,000万円超	27	7.1%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	77	20.3%
建設業	59	15.5%
卸売業	78	20.5%
小売業	70	18.4%
飲食店	11	2.9%
運送・倉庫業	10	2.6%
サービス業(※①)	17	4.5%
サービス業(※②)	25	6.6%
不動産業	9	2.4%
その他	24	6.3%
無回答	0	0.0%
合計	380	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(22年10~12月期)は、前期(22年7~9月期)に比べどのような状況ですか。
- (2) 次期(23年1~3月期)は、当期(22年10~12月期)に比べどう思いますか。

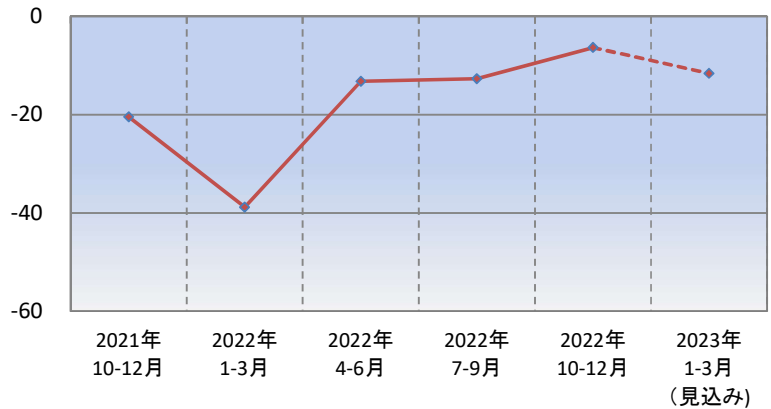
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	103	27.1%
変わらない	150	39.5%
減少した	127	33.4%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	88	23.2%
変わらないと思う	160	42.1%
減少すると思う	132	34.7%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



生産・売上DI(増加-減少)

調査時期(実績)	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月	2022年4~6月	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月(見込み)
兵庫県	▲ 36.6	▲ 49.7	▲ 40.9	▲ 34.2	▲ 20.4	▲ 38.8	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 11.6

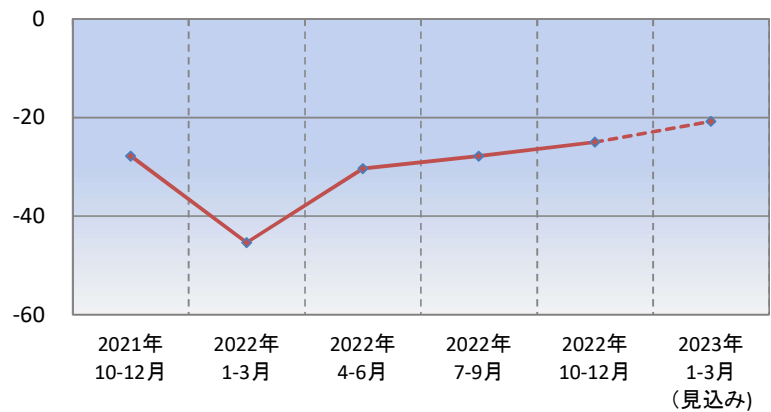
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	48	12.6%
変わらない	189	49.7%
悪化した	143	37.6%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	52	13.7%
変わらないと思う	197	51.8%
悪化すると思う	131	34.5%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



採算DI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2020年10~12月	2021年1~3月	2021年4~6月	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月	2022年4~6月	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月(見込み)
兵庫県	▲ 35.6	▲ 42.1	▲ 40.3	▲ 36.2	▲ 27.8	▲ 45.4	▲ 30.3	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 20.8

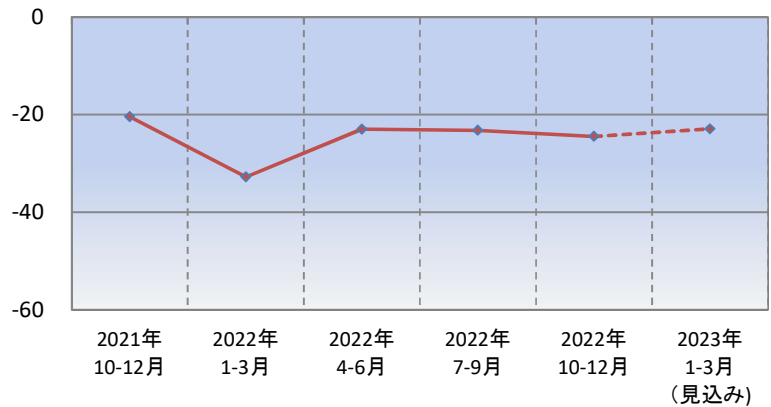
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	18	4.7%
変わらない	251	66.1%
悪化した	111	29.2%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	26	6.8%
変わらないと思う	241	63.4%
悪化すると思う	113	29.7%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 21.9	▲ 28.8	▲ 28.1	▲ 25.0	▲ 20.4	▲ 32.8	▲ 23.0	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 22.9

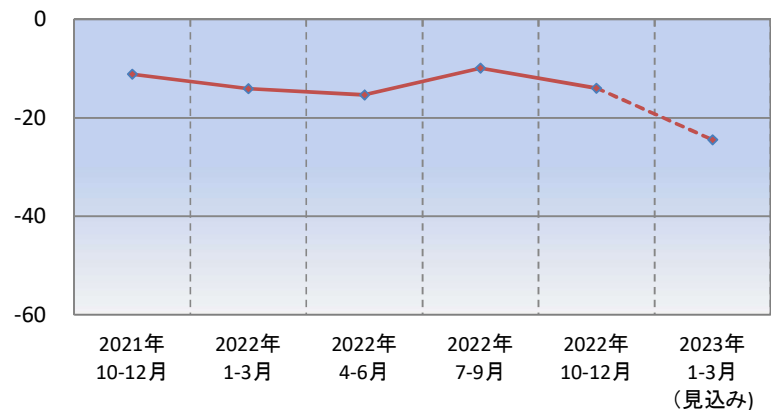
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	16	4.2%
変わらない	295	77.6%
難しくなった	69	18.2%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	12	3.2%
変わらないと思う	263	69.2%
難しくなると思う	105	27.6%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

調査時期(実績)	2020年 10~12月	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月	2022年 4~6月	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月 (見込み)
兵庫県	▲ 0.6	▲ 8.0	▲ 14.4	▲ 14.1	▲ 11.1	▲ 14.1	▲ 15.3	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 24.5

当期(10-12月)のDI値については、前期(7-9月)に比べ、「生産・売上」「採算」の項目において改善し、「資金繰り」「借入難易感」の項目において悪化しました。次期(1-3月)のDI値については、当期(10-12月)に比べ、「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「生産・売上」「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	83	21.8%
変わらないと思う	269	70.8%
弱まると思う	28	7.4%
無回答	0	0.0%
総計	380	100.0%



信用保証付要請DI (強まるー弱まる)

調査時期 (見込み)	2020年 7~9月 (10~12月)	2020年 10~12月 (1~3月)	2021年 1~3月 (4~6月)	2021年 4~6月 (7~9月)	2021年 7~9月 (10~12月)	2021年 10~12月 (1~3月)	2022年 1~3月 (4~6月)	2022年 4~6月 (7~9月)	2022年 7~9月 (10~12月)	2022年 10~12月 (1~3月)
兵庫県	4.1	7.8	7.8	3.6	1.8	3.9	4.4	6.9	16.6	14.5

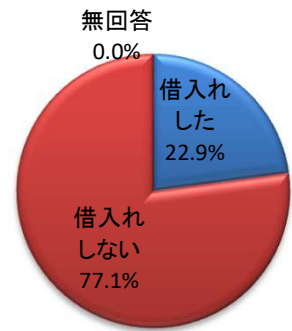
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を大幅に上回っています。

Ⅲ.当期(22年10～12月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	22年10～12月期		22年7～9月期		22年4～6月期		22年1～3月期		21年10～12月期	
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
借入れした	87	22.9%	24.6%	18.7%	17.5%	22.0%				
借入れしない	293	77.1%	75.4%	77.6%	81.6%	76.3%				
無回答	0	0.0%	0.0%	3.7%	1.0%	1.6%				
総計	380	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

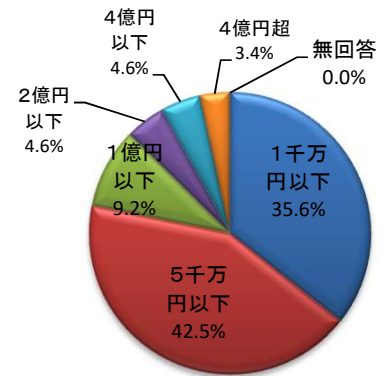
当期の借入れは、前期と比べて1.7%減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	22年10～12月期		22年7～9月期		22年4～6月期		22年1～3月期		21年10～12月期	
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
1千万円以下	31	35.6%	35.5%	38.0%	37.5%	38.9%				
5千万円以下	37	42.5%	44.9%	35.2%	40.3%	40.0%				
1億円以下	8	9.2%	14.0%	18.3%	11.1%	6.3%				
2億円以下	4	4.6%	3.7%	2.8%	2.8%	6.3%				
4億円以下	4	4.6%	1.9%	1.4%	2.8%	1.1%				
4億円超	3	3.4%	0.0%	2.8%	1.4%	2.1%				
無回答	0	0.0%	0.0%	1.4%	4.2%	5.3%				
総計	87	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

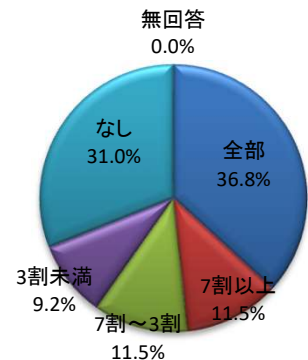
当期の借入総額は「1千万円以下」「5千万円以下」の合計が78.1%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

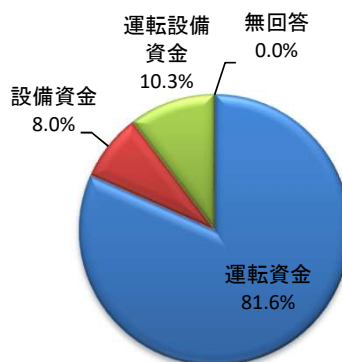
選択肢	22年10～12月期		22年7～9月期		22年4～6月期		22年1～3月期		21年10～12月期	
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
全部	32	36.8%	32.7%	25.4%	31.9%	34.7%				
7割以上	10	11.5%	3.7%	14.1%	6.9%	5.3%				
7割～3割	10	11.5%	15.0%	12.7%	5.6%	16.8%				
3割未満	8	9.2%	7.5%	5.6%	12.5%	5.3%				
なし	27	31.0%	41.1%	38.0%	38.9%	32.6%				
無回答	0	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%	5.3%				
総計	87	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、最も多く占めています。



当期借入金の目的は何ですか。

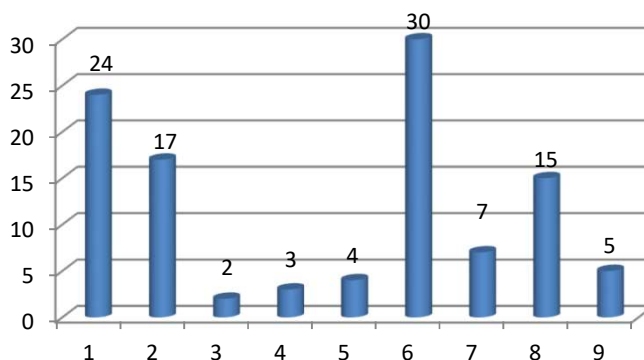
選択肢	回答数	構成比
運転資金	71	81.6%
設備資金	7	8.0%
運転設備資金	9	10.3%
無回答	0	0.0%
総計	87	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

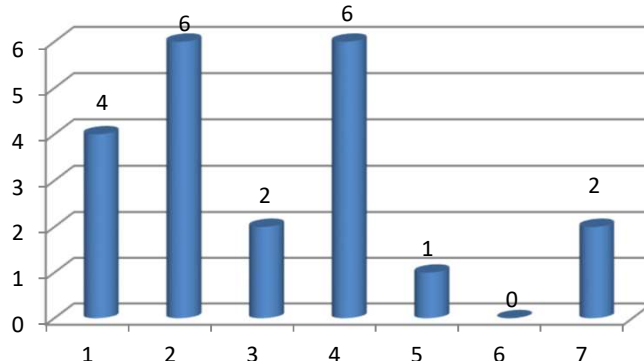
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	24
2 売上減少・赤字補填	17
3 過剰在庫対応	2
4 支払条件短縮対応	3
5 回収条件悪化対応	4
6 売上増加運転資金	30
7 在庫積み増し	7
8 季節運転資金	15
9 その他	5
総計	107



運転資金の種類は、「売上増加運転資金」が最も多く、次いで「既往借入の借換え」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

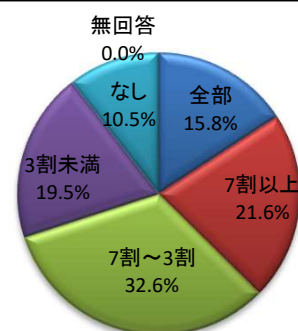
選択肢	回答数
1 新規事業	4
2 生産増強	6
3 合理化・効率化	2
4 設備老朽化に伴う入替	6
5 修理・修繕	1
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	21



設備資金の種類は、「生産増強」「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「新規事業」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(22年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

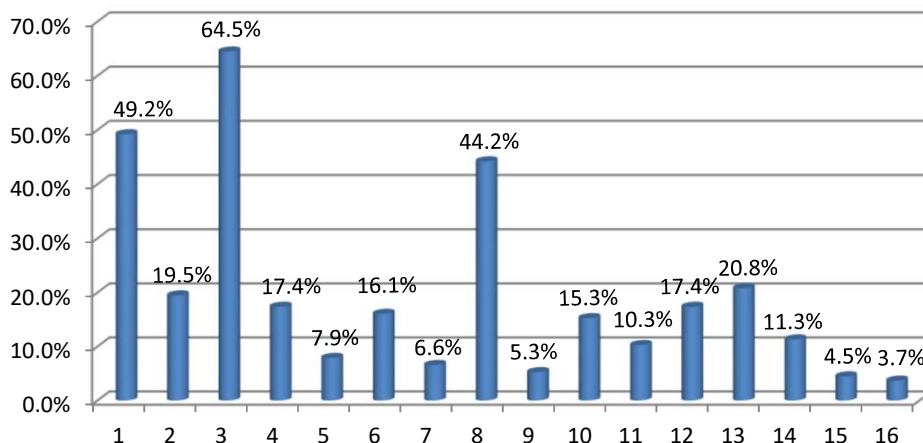
選択肢	22年10～12月期		22年7～9月期	22年4～6月期	22年1～3月期	21年10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	60	15.8%	17.5%	18.7%	16.5%	19.0%
7割以上	82	21.6%	23.0%	23.0%	20.1%	17.4%
7割～3割	124	32.6%	31.7%	32.2%	34.2%	35.5%
3割未満	74	19.5%	20.0%	16.1%	18.7%	15.8%
なし	40	10.5%	7.8%	5.0%	5.3%	7.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	5.0%	5.1%	5.3%
総計	380	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「3割未満」とする回答が減少し、「7割～3割」「なし」とする回答が増加しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	187	49.2%	9 過剰在庫	20	5.3%
2 競争激化	74	19.5%	10 設備投資	58	15.3%
3 コスト高	245	64.5%	11 後継者難	39	10.3%
4 業界構造変化	66	17.4%	12 資金調達	66	17.4%
5 取引条件の悪化	30	7.9%	13 借入過多	79	20.8%
6 消費者ニーズの多様化	61	16.1%	14 為替	43	11.3%
7 技術・商品開発	25	6.6%	15 海外景気の減速	17	4.5%
8 人材・労働力の確保	168	44.2%	16 その他	14	3.7%



経営上の課題については、「コスト高」「売上・受注の減少」「人材・労働力の確保」が上位となっています。次いで、「借入過多」「競争激化」「業界構造変化」「資金調達」の順となっています。

